

陸上自衛隊仕様書

件 名	閉式潜水具講習・検証支援等に関する役務	仕様書番号	水機教－24
		調達要求書番号	52E91A50010
		作成年月日	令和7年10月20日
		作成部隊名	陸上自衛隊水陸機動教育隊研究科
		作成担当者	坪田 敏志

1 総 則

本仕様書は、陸上自衛隊水陸機動教育隊が実施する閉式潜水具講習及び検証支援に関する役務について適用する。

2 件名に関する要求

(1) 一般的要求事項

ア 閉式潜水具講習により講習対象者に対し閉式潜水具に関する基礎的知識、当該器材の取扱操作と点検・潜水・整備技能を付与するものである。

イ 閉式潜水具検証支援により支援対象者に対し閉式潜水具を使用した検証の際に必要な、ガスの準備・充填及び技術支援等を実施して当該検証を支援するものである。

(2) 細部要求事項

ア 役務対象者

5名（小隊長、主の潜水員2名、予備潜水員2名）、その他、複数名の聴講者有

イ 時 期

(ア) 講 習

a 令和8年2月16日（月）か2月20日（金）までの約5日間を基準

b 令和8年3月 9日（月）か3月13日（金）までの約5日間を基準

(イ) 検証支援

令和8年3月16日（月）から3月27日（金）までの約10日間を基準

(ウ) その他

天候等により実施し難い場合は官と調整のうえ承認を受ける時期とし、細部は官との調整による。

ウ 場 所

(ア) 講 習

相浦駐屯地

(イ) 検証支援

海上自衛隊江田島基地

エ 講習器材

OPEN SAFETY INCURSION BMR ×2

オ 講 師

1名（必要により助手1～2名）

カ 講習内容

講習には閉式潜水具（全般及び当該器材）に関する座学と閉式潜水具 I N C U R S I O N B M R で潜水業務が実施できる実技を実施するものとする。

(ア) 座学において実施すべき事項

- a 器材の基本構造と理論の理解
- b リブリーザーの基本構造と原理
- c 各構成品の名称と役割（スクラバー、ループ、O₂センサー等）
- d 呼吸ガスの循環と処理の仕組み
- e 緊急時の対応理論（ハイP O₂、ローP O₂、フラッド等）
- f メーカー特有の仕様・注意点
- g 質疑応答への対応

(イ) 潜水業務が実施できる実技において実施すべき事項

- a 整備・点検
日常点検、整備、潜水前・中・後の点検
- b 器材の組立て・分解
実際の組立て・分解（複数回実施）、O₂ボトル装着と圧力確認要領、各バルブの操作要領、ミス想定したフィードバック形式の実習
- c 陸上訓練
呼吸法や緊急操作の手順（習熟）、ドライ環境下でのマウスピース呼吸要領、緊急時の手順（陸上訓練）、マウスピース脱着要領（切り替え、O₂の上昇・低下時の対応）
- d プール又は浅瀬での実習
浅瀬での静的訓練（呼吸・浮力コントロール）、中性浮力の保持、P O₂モニターの監視と反応確認、緊急時の手順（水中訓練）、センサー異常時の確認、対処要領、B O V切り替え要領、スクラバー不良を想定した浮上手順の要領、基礎潜水
- e 海洋実習（複数回のダイブ）
安全ダイビング海洋実習、P O₂管理、浮力操作の実践、予定深度・時間でのリブリーザーの反応の確認、通常運用（基礎潜水等と緊急時の手順の実施）
- f 質疑応答への対応

キ 講習・検証支援

講習、検証時に必要な各種ガス、炭酸ガス吸収剤（M i c r o p o r e 社 E x t e n d A i r）の必要数量の準備及び充填等の実施及び当該器材不具合時の対処

ク 検証立会（深度40m以浅）

検証に立ち合い、当該閉式潜水具を使用した潜水業務実施時の助言、安全管理に関する助言

3 監督

契約担当官が定める監督実施要領による。

4 その他

細部確認が必要な事項は官側と協議の上承諾を受ける。